

2027年度

学生募集要項

理工学研究科

大学院入試情報サイトに掲載している
『学生募集要項 別冊(研究科共通)』も必ずご確認ください。

関西大学大学院

目 次

I	出願前の確認	1
II	入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)	2
III	2027年度入学試験日程および各種手続期間一覧	2～3
IV	募集内容	4
■	博士課程前期課程 募集研究科・専攻および入学定員	4
	一般入学試験(春学期入学)	5～9
	外国人留学生入学試験(春学期入学・秋学期入学)	10～14
	社会人入学試験(春学期入学)	15～17
	特別選抜入学試験(春学期入学)	18～21
	2027年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)	22～25
■	博士課程後期課程 募集研究科・専攻および入学定員	26
	一般入学試験(春学期入学)	27～29
	外国人留学生入学試験(春学期入学・秋学期入学)	30～32
	社会人入学試験(春学期入学・秋学期入学)	33～35
	2027年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)	36～39
V	出願書類に関する注意事項	40～41

I 出願前の確認

出願資格の確認

(各自が志望する入試種別の出願資格を後掲の「募集内容」で確認)

出願資格「あり」

個別の入学資格審査が
不要な場合

出願資格「あり」

出願手続

- (1) 出願登録
- (2) 入学検定料納入
- (3) 出願確認票(大学提出用)等提出

出願手続完了

出願資格の再審査について

以下の場合には個別の入学資格の再審査を経ずに出願を認めます。
ただし、同一研究科への申請かつ、申請者の学歴に変更が生じない場合に限りです。

- (1) 個別の入学資格審査の結果、出願資格を一度認められた者が、同一入学年度内の他の日程に出願する場合
- (2) 外国人研究生として個別の入学資格審査を受け、出願資格を認められた在学生在が、引き続き外国人留学生入学試験を出願する場合

- 出願資格の有無について審査の必要がある場合
- 出願資格の有無について判断できない場合

大学院入試グループへ電話連絡・相談

Tel : 06-6368-1407

E-mail : grd-adm@ml.kandai.jp

個別の入学資格審査が
必要な場合

個別の入学資格審査 (申請)

〔申請期日〕 郵送の場合は期日までに必着

○ 春学期入学

8月募集 : 2026年6月4日(木)

10月募集 : 2026年6月25日(木)

2月募集 : 2026年11月19日(木)

○ 秋学期入学

7月募集 : 2027年4月15日(木)

8月募集 : 2027年6月3日(木)

〔申請書類〕

- ・ 個別の入学資格審査申請書
- ・ すべての出願書類(出願確認票(大学提出用)を除く)

※ 出願書類の内容は志望する入試種別の「2 出願書類」を確認

〔申請先〕 郵送または窓口提出

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学 大学院入試グループ

審査結果通知 (電話連絡・通知書送付)

〔通知予定日〕

○ 春学期入学

8月募集 : 2026年6月24日(水)

10月募集 : 2026年7月23日(木)

2月募集 : 2026年12月10日(木)

○ 秋学期入学

7月募集 : 2027年5月12日(水)

8月募集 : 2027年6月23日(水)

出願資格「なし」

・ 申請書類返却

II 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

前期課程

理工学研究科では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 学士課程で修得した理工学の基礎となる学力を基に、専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。
- 2 学士課程における学習を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献できる。
- 3 特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。

後期課程

理工学研究科では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 学士課程及び博士前期課程で専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。
- 2 学士課程及び博士前期課程における学習を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献できる。
- 3 特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。

III 2027年度入学試験日程および各種手続期間一覧

出願手続は、出願登録、入学検定料の納入、出願書類の提出により完了します。

出願登録のみでは出願したものとして取り扱いません。

出願に際しては本冊子および『学生募集要項 別冊（研究科共通）』に記載の内容を十分に確認して手続きしてください。

【春学期入学】

日 程	8月募集	10月募集		2月募集	
入学定員	【システム理工学専攻】 【環境都市工学専攻】 【化学生命工学専攻】 【総合理工学専攻】		前期課程：142名 前期課程：86名 前期課程：108名 後期課程：47名		
課 程	前期課程	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程
入試種別	■一般入学試験	■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験	■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験 ■特別選抜入学試験	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験
出願登録期間 入学検定料納入期間 出願書類提出期間	2026年6月25日(木)~7月9日(木)	2026年8月21日(金)~9月4日(金)		2026年12月18日(金) ~2027年1月8日(金)	
受験票ダウンロード 開始日	2026年8月3日(月)	2026年10月5日(月)		2027年2月15日(月)	
試験日	2026年8月22日(土) (予備日)2026年8月23日(日)	2026年10月11日(日) (予備日)2026年10月25日(日)		2027年2月20日(土) (予備日)2027年2月21日(日)	
合格者発表日	2026年8月28日(金)	2026年10月16日(金) (予備日)2026年10月30日(金)		2027年2月26日(金)	
入学手続I-(1)	2026年8月28日(金)~9月11日(金)	2026年10月16日(金) ~10月30日(金) (予備日)2026年10月30日(金) ~11月13日(金)		2027年2月26日(金)~3月15日(月)	
入学手続I-(2) 入学手続II	2027年2月15日(月)~3月15日(月)				

※入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

【秋学期入学】

日 程	7月募集		8月募集
入学定員	【システム理工学専攻】 【環境都市工学専攻】 【化学生命工学専攻】 【総合理工学専攻】		前期課程：142名 前期課程：86名 前期課程：108名 後期課程：47名
課 程	前期課程	後期課程	後期課程
入試種別	■外国人留学生入学試験	■外国人留学生入学試験	■社会人入学試験
出願登録期間 入学検定料納入期間 出願書類提出期間	2027年5月20日(木)～6月3日(木)		2027年6月24日(木)～7月8日(木)
受験票ダウンロード 開始日	2027年7月5日(月)		2027年8月9日(月)
試験日	2027年7月11日(日) (予備日)2027年7月25日(日)		2027年8月28日(土) (予備日)2027年8月29日(日)
合格者発表日	2027年7月16日(金) (予備日)2027年7月30日(金)		2027年9月3日(金)
入学手続Ⅰ-(1)	2027年7月16日(金) ～7月30日(金) (予備日)2027年7月30日(金) ～8月23日(月)		2027年9月3日(金)～9月8日(水)
入学手続Ⅰ-(2) 入学手続Ⅱ	2027年8月20日(金)～9月3日(金)		

※1 入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

※2 前期課程の秋学期入学（7月募集）においては、システム理工学専攻数学分野、環境都市工学専攻建築学分野および都市システム工学分野の募集を行いません。

【予備日の設定について】

台風接近による暴風警報発令および交通機関運行停止により試験を延期する場合は、上記のとおり予備日に実施します。その場合は、試験当日7時に本大学院入試情報サイトに掲載します。

学内進学試験の学生募集要項は関西大学大学院入試情報サイト（<https://kansai-gradsch.kansai-u.ac.jp/>）で別途案内しています。

IV 募集内容

理工学研究科（博士課程前期課程）

募集研究科・専攻および入学定員

研究科	専攻	入学定員
理工学研究科	システム理工学専攻	142名
	環境都市工学専攻	86名
	化学生命工学専攻	108名

注1 入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

注2 博士課程前期課程の秋学期入学（7月募集）においては、システム理工学専攻数学分野、環境都市工学専攻建築学分野および都市システム工学分野の募集を行いません。

M 一般入学試験（春学期入学：8月募集）

I 出願資格

次の(1)～(10)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(8)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(9)または(10)に該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(9)または(10)による出願は、出願前に個別の入学資格審査として行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

【重要】出願に際しては事前に志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります（「大学院 Information」または理工学研究科ウェブサイトを参照）。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。（本学システム理工学部、環境都市工学部および化学生命工学部の在生を除外。）ただし、入学後の指導教員は希望どおりにならないこともあります。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、40～41 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
出願確認票(大学提出用)【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能(カラー印刷推奨)。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書(原本)を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書(原本)も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD(デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー)プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学等の卒業(見込)証明書【④】	<p>卒業(見込)であること、入学年月および卒業(見込)年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(2)による志願者は卒業証明書に代えて次の(a)または(b)の書類を、出願資格(6)による志願者は卒業証明書に加えて次の(a)の書類を提出してください。</p> <p>(a)学位を授与された者 学位授与証明書</p> <p>(b)学位取得見込みの者はアおよびイ ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書 イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書(申請を受理された者は、大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書)</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑤】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。)	<p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。 なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
写真 1枚	出願前3カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。 なお、修整・加工したものは不可。

システム理工学専攻 物理・応用物理学分野、機械工学分野、電気電子情報工学分野、
環境都市工学専攻 建築学分野、都市システム工学分野、化学生命工学専攻 生命・生物工学分野の志願者

<p>「TOEIC」または「TOEFL」のスコア証明書【④】</p> <p>※スコア証明書は、各日程の出願開始日から遡って2年以内を取得したものを有効とします。</p>	<p>●TOEIC® L&R</p> <p>【日本国内受験者】 「デジタル公式認定証」の PDF ファイルをダウンロードのうえ A4 用紙に印刷したもの ※41 ページの「TOEIC 『公開テスト スコア確認サービス』手続きの流れ」に従って、TOEIC 申込サイトからスコア提出の手続きを行ってください。</p> <p>【日本国外受験者】 「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」の原本 (注) TOEIC® L&R テスト (IP) 等の団体特別受験制度のスコアは認めません。</p> <hr/> <p>●TOEFL iBT®</p> <p>ETSアカウントから Kansai University Graduate Schools (Designated Institution (DI) Code : G128) へスコアの直送手続きを行ったうえで、次の①・②の両方を必ず提出してください。</p> <p>①ETSアカウントよりダウンロードした「Test Taker Score Report (PDFファイル)」をA4用紙に印刷したもの。 ②データ直送依頼が完了したことが分かる画面をA4用紙に印刷したもの。 ※直送先として G128 (Kansai University Graduate Schools) が選択されていること、16 ケタの Appointment Number (テスト予約番号、旧名称 Registration Number) の2点がかかるもの。 (注 1) TOEFL ITP®テスト等の団体特別受験制度、TOEFL iBT® Home Edition のスコアは認めません。 (注 2) TOEFL iBT® テストにおける My Best™ スコアは選考対象としません。</p>
--	---

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に合否を決定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

なお、理工学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験時間

筆記試験		口頭試問
専門科目	外国語（英語）	筆記試験終了後
10:00～12:00（120分）	13:30～15:00（90分）	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

6 専攻・分野別試験科目および配点

専攻	分野	試験科目		配点
システム理工学専攻	数学分野	専門科目	【必須】 微積分、線形代数 【2題選択】 集合と位相、解析、微分方程式、群・環	250点
		外国語	英語	100点
		口頭試問		100点
	物理・応用物理学分野	専門科目	【必須】 力学、電磁気学、数学（微積分、線形代数）各1問 【選択】 量子力学、波動、物性物理、流体力学の中から1問選択 ※ 選択科目については、出願時に受験科目を申請すること	250点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100点
		口頭試問		100点
	機械工学分野	専門科目	下記の5科目の問1すべてと、問2から2問を選択して解答する。 応用数学、熱力学、流体力学、材料力学、機械力学	250点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100点
		口頭試問		100点
	電気電子情報工学分野	専門科目	【電気回路、電磁気学、データ構造とアルゴリズムの3科目から2科目選択】 電気回路 2問出題 問1 直流回路（キルヒホッフの法則、直・並列回路、双対性、電力と整合） 問2 交流回路（正弦波定常回路、回路の複素数表示、ベクトル図、共振回路、回路の諸定理、過渡現象の基礎） 電磁気学 次の範囲から2問出題 電荷、電場、電気容量、磁場、誘導とインダクタンス、電磁力 データ構造とアルゴリズム 次の範囲から2問出題 計算量、データ構造（木構造、グラフ構造を含む）、探索アルゴリズム（データ探索、文字列探索、グラフ探索を含む）、ソートアルゴリズム、C言語によるプログラム記述	300点
		外国語	筆記試験を行いません。	—
		口頭試問		150点

環境都市工学専攻	建築学分野	専門科目	建築学全般にわたる8～10問の設問から5問を選択	300点
		外国語	筆記試験を行いません。	—
		口頭試問		150点
	都市システム工学分野	専門科目	【必須科目】 基礎数学 (微積分、線形代数) 【選択科目】下記科目から2科目を選択 環境工学、水理学、地盤力学、構造力学、 コンクリート工学、土木計画学、データ工学、 ネットワーク工学、土木情報学	250点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100点
		口頭試問		100点
	エネルギー環境・化学工学分野	専門科目	【必須】 物理化学 〔反応速度論、熱力学(化学平衡、相平衡を含む)、電気化学、溶液論、化学量論〕 【選択科目】 反応工学、プロセスシステム工学、触媒工学、 流動伝熱、拡散分離の5科目から2科目選択 注 本学から関数電卓・定規を貸与します	250点
		外国語	英語	100点
		口頭試問		100点
	化学生命工学専攻	化学・物質工学分野	専門科目	【(1)～(8)の8科目から2科目選択】 ただし(1)と(6)は同時に選択できない。 (1) 材料の熱力学と速度論(材料熱力学、 速度論、物質移動) (2) 材料の構造と相平衡(結晶構造、X解 回折、材料組織、状態図) (3) 材料の力学と物性(材料力学、材料の 機械的・熱的・電氣的・光学的性質) (4) 有機化学 (5) 高分子化学 (6) 物理化学 (7) 無機化学 (8) 生体分子化学(生体分子の構造と機能) 注 本学から関数電卓を貸与します
外国語			英語	100点
口頭試問			100点	
生命・生物工学分野		専門科目	【次から2科目選択】 生化学、微生物学、有機化学	250点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100点
		口頭試問		100点

M 外国人留学生入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

I 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(4)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者（注1）
- (2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者
- (3) 外国の大学その他の外国の学校（注2）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (4) 日本において外国人留学生として専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (5) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

注1 以下の学校に在籍した者は、その期間が通算4年以内である場合に限り、出願資格(1)と同様とみなす。

- ・日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等
- ・日本にある外国人学校
- ・文部科学大臣が認定又は指定した在外教育施設

注2 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(5)に該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(5)による出願は、出願前に個別の入学資格審査として行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

【重要】出願に際しては事前に志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります（「大学院 Information」または理工学研究科ウェブサイトを参照）。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。（本学システム理工学部、環境都市工学部および化学生命工学部の在学学生を除く。）ただし、入学後の指導教員は希望どおりにならないこともあります。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、40～41 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
出願確認票(大学提出用)【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能(カラー印刷推奨)。
日本語または英語による志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書(原本)を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書(原本)も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD(デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー)プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学の卒業(見込)証明書【④】	<p>卒業(見込)であること、入学年月および卒業(見込)年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(3)による志願者は、卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。</p>
日本語または英語による研究計画書【⑤】	<p>概要1,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙(横書き40字×40行)を使用して作成してください。</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑬】	<p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。</p> <p>なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
写真 1枚	<p>出願前3カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。</p> <p>なお、修整・加工したものは不可。</p>

システム理工学専攻 物理・応用物理学分野、機械工学分野、
電気電子情報工学分野、環境都市工学専攻 建築学分野、都市システム工学分野の志願者

<p>「TOEIC」または「TOEFL」のスコア証明書【④】</p> <p>※スコア証明書は、各日程の出願開始日から遡って2年以内に取得したものを有効とします。</p>	<p>●TOEIC® L&R 【日本国内受験者】 「デジタル公式認定証」のPDFファイルをダウンロードのうえA4用紙に印刷したもの ※41ページの「TOEIC 『公開テスト スコア確認サービス』手続きの流れ」に従って、TOEIC 申込サイトからスコア提出の手続きを行ってください。 【日本国外受験者】 「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」の原本 (注) TOEIC® L&R テスト (IP) 等の団体特別受験制度のスコアは認めません。</p> <p>●TOEFL iBT® ETSアカウントから Kansai University Graduate Schools (Designated Institution (DI) Code : G128) へスコアの直送を行ったうえで、次の①・②の両方を必ず提出してください。 ①ETSアカウントよりダウンロードした「Test Taker Score Report (PDFファイル)」をA4用紙に印刷したもの。 ②データ直送依頼が完了したことが分かる画面をA4用紙に印刷したもの。 ※直送先として G128 (Kansai University Graduate Schools) が選択されていること、16ケタの Appointment Number (テスト予約番号、旧名称 Registration Number) の2点がかかるもの。 (注 1) TOEFL ITP®テスト等の団体特別受験制度、TOEFL iBT® Home Editionのスコアは認めません。 (注 2) TOEFL iBT® テストにおける My Best™ スコアは選考対象としません。</p>
--	---

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

【システム理工学専攻 電気電子情報工学分野以外】

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に合否を決定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

【システム理工学専攻 電気電子情報工学分野のみ】

口頭試問の得点の高位順に合否を決定します。

なお、理工学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験時間

筆記試験		口頭試問
専門科目	外国語（英語）	筆記試験終了後
10:00～12:00（120分）	13:30～15:00（90分）	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

6 専攻・分野別試験科目および配点

秋学期入学（7月募集）においては、システム理工学専攻数学分野、環境都市工学専攻建築学分野および都市システム工学分野の募集を行いません。

専攻	分野	試験科目		配点
システム理工学専攻	数学分野	専門科目	【必須】 微積分、線形代数 【2題選択】 集合と位相、解析、微分方程式、群・環	250点
		外国語	英語	50点
		口頭試問		100点
	物理・応用物理学分野	専門科目	【必須】 力学、電磁気学、数学（微積分、線形代数）各1問 【選択】 量子力学、波動、物性物理、流体力学の中から1問選択 ※ 選択科目については、出願時に受験科目を申請すること	200点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100点
		口頭試問		100点
		専門科目	筆記試験を行いません。	—
	機械工学分野	外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100点
		口頭試問	次のような点について試問を行います。 ①出願時に選択する口頭試問科目を中心とした 機械工学の基本的な理解に関する試問 ※口頭試問科目：出願時に 応用数学、熱力学、流体力学、材料力学、機械力学の5科目から2科目を選択してください。 ②これまでの研究内容 ③入学後の研究テーマと研究方法 等	300点
		専門科目	筆記試験を行いません。	—
	電気電子情報工学分野	外国語	筆記試験を行いません。	—
		口頭試問	次のような点について試問を行います。 ①出願時に選択する口頭試問科目を中心とした 電気電子情報工学に関する試問 ※口頭試問科目：出願時に 電気回路、電磁気、情報基礎の3科目から2科目を選択してください。 ※口頭試問科目の出題範囲 電気回路…直・並列回路、双対性、正弦波定常回路など 電磁気…電荷、電場、電気容量、磁場など 情報基礎…データ構造とアルゴリズム、プログラミング(C言語)など ②志望研究領域に関する試問 等	400点
専門科目		筆記試験を行いません。	—	

環境都市工学専攻	建築学分野	専門科目	専門に関する小論文（日本語で解答）	250点	
		外国語	筆記試験を行いません。	—	
		口頭試問		150点	
	都市システム工学分野	専門科目	【必須科目】 基礎数学 （微積分、線形代数） 【選択科目】 下記科目から2科目を選択 環境工学、水理学、地盤力学、構造力学、 コンクリート工学、土木計画学、データ工学、 ネットワーク工学、土木情報学 ※ 選択科目については、出願時に受験科目を申請すること	200点	
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100点	
		口頭試問		100点	
	エネルギー環境・化学工学分野	専門科目	物理化学、化学工学に関する総合問題（日本語もしくは英語で解答） 注 本学から関数電卓・定規を貸与します	200点	
		外国語	英語	100点	
		口頭試問		100点	
	化学生命工学専攻	化学・物質工学分野	専門科目	志望研究領域に関する化学・物質工学 注 本学から関数電卓を貸与します	200点
			外国語	英語	100点
			口頭試問		100点
生命・生物工学分野		専門科目	【次から1科目選択】 生化学、分子生物学、微生物学、有機化学、 食品栄養化学 ただし、出願時に受験科目を申請すること	200点	
		外国語	英語	100点	
		口頭試問		100点	

M 社会人入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集）

I 出願資格

次の(1)および(2)の条件を満たす者

(1) 次のア～コのいずれかに該当する者

- ア 大学を卒業した者
- イ 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- ウ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- オ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- カ 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- キ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ク 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ケ 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- コ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記オの指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

(2) 次のアまたはイのいずれかに該当する者

- ア 入学時において、同一の企業、官公庁、教育・研究機関等において引き続き2年以上勤務する見込みの者または2年以上勤務経験を有する者で、本研究科入学までに25歳に達する者。ただし、現職教員または経験者は本研究科入学までに22歳に達する者
- イ 本大学院において、個別の入学資格審査により、アに準ずる職歴を有すると認められた者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(1)-ケ、(1)-コまたは(2)-イに該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(1)-ケ、(1)-コによる出願は、出願前に個別の入学資格審査として行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

【重要】出願に際しては事前に志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります（「大学院 Information」または理工学研究科ウェブサイト参照）。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。ただし、入学後の指導教員は希望どおりにならないこともあります。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、40～41 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備考
出願確認票（大学提出用）【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能（カラー印刷推奨）。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書（原本）も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合は、留学先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に DD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD 派遣先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注 1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注 2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>
出身大学等の卒業（見込）証明書【④】	<p>卒業（見込）であること、入学年月および卒業（見込）年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(1)-イによる志願者は卒業証明書に代えて学位授与証明書を提出してください。</p> <p>また、出願資格(1)-カによる志願者は卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。</p>
研究計画書【⑤】	<p>概要 1,000 字程度</p> <p>原本 1 部とその写し 3 部</p> <p>パソコン等で、A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。</p>
業績報告書【⑧】	<p>在職中の研究業績内容または業務内容の概要 1,000 字程度</p> <p>原本 1 部とその写し 3 部</p> <p>パソコン等で、A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。</p>
研究業績がある場合には、抜刷またはその写し【⑨】 ★該当者のみ	<p>学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写し 各 4 部</p> <p>印刷出力が難しい場合は、電子媒体そのものでも可</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑩】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ （特別永住者を除く。）	<p>【日本国内在住者】</p> <p>在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。</p> <p>なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
写真 1 枚	<p>出願前 3 カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。</p> <p>なお、修整・加工したものは不可。</p>

<p>「TOEIC」または「TOEFL」のスコア証明書【④】</p> <p>※スコア証明書は、各日程の出願開始日から遡って2年以内に取得したものを有効とします。</p>	<p>●TOEIC® L&R 【日本国内受験者】 「デジタル公式認定証」のPDFファイルをダウンロードのうえA4用紙に印刷したもの ※41ページの「TOEIC『公開テスト スコア確認サービス』手続きの流れ」に従って、TOEIC 申込サイトからスコア提出の手続きを行ってください。</p> <p>【日本国外受験者】 「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」の原本 (注) TOEIC® L&R テスト (IP) 等の団体特別受験制度のスコアは認めません。</p> <hr/> <p>●TOEFL iBT® ETSアカウントから Kansai University Graduate Schools (Designated Institution (DI) Code : G128)へスコアの直送手続きを行ったうえで、次の①・②の両方を必ず提出してください。</p> <p>①ETSアカウントよりダウンロードした「Test Taker Score Report (PDFファイル)」をA4用紙に印刷したもの。 ②データ直送依頼が完了したことが分かる画面をA4用紙に印刷したもの。 ※直送先としてG128 (Kansai University Graduate Schools)が選択されていること、16ケタのAppointment Number (テスト予約番号、旧名称Registration Number) の2点がわかるもの。 (注 1) TOEFL ITP®テスト等の団体特別受験制度、TOEFL iBT® Home Editionのスコアは認めません。 (注 2) TOEFL iBT® テストにおける My Best™ スコアは選考対象としません。</p>
--	--

3 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

口頭試問の得点の高位順に合否を決定します。

なお、理工学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目

筆記試験	口頭試問
行いません	口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

M 特別選抜入学試験（春学期入学：2月募集）

I 特別選抜入学試験の趣旨

21世紀における人類社会のさらなる発展を期すために、科学創造立国を唱える我が国では、新技術の開発に貢献できる高度の研究開発能力と広い視野を持つ技術者の育成が急務となっている。本研究科はこのような社会の要請にこたえるため、特別選抜入学試験制度を実施し、独創性豊かな人材を広く学内外に求めようとするものである。そのため、特別選抜入学試験では、筆記試験中心の通常の入学試験とは異なり、志願者の基礎学力はもとより、本研究科での勉学・研究意欲、知的好奇心並びに科学技術への関心の度合いなどを書類審査と口頭試問により評価し、選抜を行う。

2 専攻・分野および募集人員

募集の有無について [○：募集有り（若干名） ×：募集無し]

専攻	分野	他大学		本学システム理工学部、 環境都市工学部、 化学生命工学部および工学部		本学の左記以外の学部	
		既卒者	卒業見込者	既卒者 ただし、社会人入学試験の出願資格を満たさない者	卒業見込者	既卒者	卒業見込者
システム理工学専攻	数学分野※1	○	○	○	×	○	○
	物理・応用物理学分野	○	○	○	×	○	○
	機械工学分野※2	○	○	○	×	○	○
	電気電子情報工学分野	×	×	×	×	×	×
環境都市工学専攻	建築学分野	○	○	○	×	○	○
	都市システム工学分野	×	×	×	×	×	×
	IT初級・環境・化学工学分野	○	○	○	×	○	○
化学生命工学専攻	化学・物質工学分野	○	○	○	×	○	○
	生命・生物工学分野	○	○	○	×	○	○

※1 システム理工学専攻数学分野においては、同一年度の一般入学試験（8月募集）受験者は受験できないこと。

※2 システム理工学専攻機械工学分野においては、事前に各研究領域の研究指導教員に意志を連絡しておくこと。

3 出願資格

次の(1)～(10)のいずれかの条件を満たす者

(本研究科入学までに、(1)～(8)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記オの指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

外国人留学生については、同一日に実施する「外国人留学生入学試験」に出願してください。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(9)または(10)に該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(9)または(10)による出願は、出願前に個別の入学資格審査として行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

【重要】出願に際しては事前に志望する研究領域の教員に連絡をし、出願資格および試験日当日の口頭試問における準備資料について確認をする必要があります（「大学院 Information」または理工学研究科ウェブサイト参照）。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。ただし、入学後の指導教員は希望どおりにならないこともあります。

4 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、40～41 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備考
出願確認票(大学提出用)【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能(カラー印刷推奨)。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書(原本)を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書(原本)も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD(デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー)プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学等の卒業(見込)証明書【④】	<p>卒業(見込)であること、入学年月および卒業(見込)年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(2)による志願者は卒業証明書に代えて次の(a)または(b)の書類を、出願資格(6)による志願者は卒業証明書に加えて次の(a)の書類を提出してください。</p> <p>(a)学位を授与された者 学位授与証明書</p> <p>(b)学位取得見込みの者はアおよびイ ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書 イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書(申請を受理された者は、大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書)</p>
推薦書【⑩】	<p>本学所定の用紙</p> <p>厳封したもので、原則として第三者により作成されたものを提出してください。厳封した封筒等に書類番号を明記してください。</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑮】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。)	<p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。 なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
写真 1枚	<p>出願前3カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。 なお、修整・加工したものは不可。</p>

<p>「TOEIC」または「TOEFL」のスコア証明書【④】</p> <p>※スコア証明書は、各日程の出願開始日から遡って2年以内を取得したものを有効とします。</p>	<p>●TOEIC® L&R 【日本国内受験者】 「デジタル公式認定証」のPDFファイルをダウンロードのうえA4用紙に印刷したもの ※41ページの「TOEIC『公開テスト スコア確認サービス』手続きの流れ」に従って、TOEIC 申込サイトからスコア提出の手続きを行ってください。</p> <p>【日本国外受験者】 「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」の原本 (注) TOEIC® L&R テスト (IP) 等の団体特別受験制度のスコアは認めません。</p> <hr/> <p>●TOEFL iBT® ETSアカウントから Kansai University Graduate Schools (Designated Institution (DI) Code : G128)へスコアの直送を行ったうえで、次の①・②の両方を必ず提出してください。</p> <p>①ETSアカウントよりダウンロードした「Test Taker Score Report (PDFファイル)」をA4用紙に印刷したもの。 ②データ直送依頼が完了したことが分かる画面をA4用紙に印刷したもの。 ※直送先としてG128 (Kansai University Graduate Schools)が選択されていること、16ケタのAppointment Number (テスト予約番号、旧名称Registration Number)の2点がかかるもの。 (注1) TOEFL ITP®テスト等の団体特別受験制度、TOEFL iBT® Home Editionのスコアは認めません。 (注2) TOEFL iBT® テストにおけるMy Best™スコアは選考対象としません。</p>
<p>社会人経験(注)を持つ志願者のみ次の①および②も併せて提出してください。</p>	
<p>① 企業・研究・教育機関等での主要な業務・研究経歴とその内容および入学後の研究計画【①】</p>	<p>各4部 パソコン等でA4用紙(横書40字×40行)を使用して作成してください。</p>
<p>② 学術講演会等での発表、書籍・学術雑誌等に掲載または掲載決定している論文等【②】</p>	<p>各4部 ある場合のみ提出してください。</p>

注 社会人経験とは、入学時に企業・教育・研究機関等で継続して2年間以上の実務経験があることを指します。

5 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

6 合否判定基準

口頭試問の得点の高位順に合否を決定します。

なお、理工学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

7 試験内容

<p>試験科目</p>	<p>(1) 書類選考および口頭試問(口答・筆答を含む) (2) 社会人経験を持つ者(現職教員を含む)については、所属機関での主要な業務内容と入学後の研究計画についてのプレゼンテーション (3) (2)以外の者については、大学院での学修・研究に係る事項についての自己アピールあるいは知的好奇心が高い特定の課題に対するプレゼンテーション 注1 筆記試験は実施しません。 注2 (2)および(3)については、志願者は事前に説明資料・作品等を準備し、5~10分程度で行うこと。 なお、準備資料については、志望する研究領域の教員に確認すること。</p>
<p>口頭試問の内容</p>	<p>(1) 出願書類に関する事項 (2) 志望分野・研究領域に関する基礎的科目に関する事項 (3) 自己アピール・プレゼンテーションに関する事項</p>

注 口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <<https://kansaigradsch.kansai-u.ac.jp/>> (2026年4月現在)

2027年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)
システム理工学専攻	数学分野	コホモロジー的数理	教授 博(理)東工大 ○庄田敏宏
			教授 博(数理科学)東大 ○藤岡敦
			教授 博(理)早大 ○村林直樹
			教授 博(理)名大 ○柳川浩二
	教授 博(理)阪大 ○和久井道久		
	准教授 博(数理科学)東大 ○神吉雅崇		
	確率・統計	教授 博(理)阪大 ○上村稔大	
		教授 博(学術)東大 ○寺本央	
		准教授 博(数理)九大 ○上原悠禎	
		准教授 博(理)立命館大 ○田口大	
	物理・応用物理学分野	基礎・計算物理	教授 博(理)京大 ○板野智昭
			教授 博(工)名大 ○伊藤博介
			教授 博(理)大市大 ○伊藤誠
			教授 博(工)名大 ○本多周太
	教授 理博(京大) ○和田隆宏		
	准教授 博(理)信州大 ○阿部裕悟		
	光学・応用物理	教授 博(工)阪大 ○浅川誠	
		教授 博(材)北陸先端大 ○稲田貢	
		教授 博(理)京大 ○山口聡一朗	
		教授 博(工)東大 ○山本健	
	准教授 Ph.D.(メリーランド大) ○山本真人		
	機械工学分野	ナノ機能物理工学	教授 博(工)慶應大 ○伊藤健
		教授 博(工)広大 ○清水智弘	
		流体工学・バイオメカニクス	教授 博(工)関大 ○田地川勉
			教授 博(工)阪大 ○山本恭史
		材料工学	准教授 博(工)北大 ○大友涼子
			教授 博(工)阪大 ○齋藤賢一
			教授 博(工)関大 ○佐藤知広
トライボロジー・情報マイクロメカトロニクス		教授 博(工)京大 ○高橋可昌	
		教授 博(工)東工大 ○小金沢新治	
		教授 博(工)東大 ○谷弘詞	
熱工学		教授 博(工)岩大 ○呂仁国	
		教授 博(工)関大 ○梅川尚嗣	
	教授 博(工)同大 ○松本亮介		
生産加工システム	准教授 博(工)関大 ○網健行		
	准教授 博(工)京大 ○小田豊		
	教授 博(工)東大 ○古城直道		
機械力学・制御工学	教授 工博(東大) ○山口智実		
	准教授 博(工)岡山大 ○廣岡大祐		
計測・知能システム	教授 博(工)京大 ○山田啓介		
	准教授 博(情報科学)阪大 ○白藤翔平		
	教授 博(理)広大 ○高田啓二		
ロボット・マイクロシステム	教授 博(工)阪大 ○前泰志		
	准教授 博(工)阪大 ○ラサミーポチャラ		
	教授 博(工)東大 ○青柳誠司		
人間・生体情報工学	教授 博(工)広大 ○鈴木昌人		
	准教授 博(工)東北大 ○高橋智一		
	教授 Ph.D.(メリーランド大) ○小谷賢太郎		
准教授 博(工)青学大 ○鈴木哲			

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <<https://kansaigradsch.kansai-u.ac.jp/>> (2026年4月現在)

2027年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）		
システム理工学専攻	電気電子情報工学分野	電気工学	教授	博(工)東大	○大橋俊介
			教授	博(工)東大	○濱田昌司
			准教授	博(工)関大	○米津大吾
		機能性材料・デバイス	教授	博(工)京大	○上田哲三
			教授	博(工)阪大	○北村敏明
			教授	博(工)東工大	○黒川康良
			教授	博(工)阪大	○佐伯拓
			教授	博(理)北大	○長谷川裕之
			准教授	博(工)早大	○稲葉優文
			准教授	博(工)宮崎大	○大堀大介
			准教授	博(工)関大	○佐藤伸吾
			准教授	博(理)京大	○杉本貴則
			准教授	博(工)筑波大	○宝田隼
		情報通信工学	教授	博(工)阪大	○平田孝志
			教授	工博(阪大)	○山本幹
			教授	博(工)阪大	○四方博之
			教授	博(工)阪大	○和田友孝
		システム情報学	教授	博(工)京大	○伊藤秀隆
			教授	博(情報学)京大	○土谷亮
			教授	博(工)慶大	○肥川宏臣
			教授	博(工)金沢大	○三好誠司
准教授	博(工)岡山大		○本仲君子		
メディア処理工学	教授	博(工)阪大	○梶川嘉延		
	教授	博(工)大市大	○松島恭治		
	准教授	博(工)東京農工大	○東広志		
	准教授	博(情報科学)北大	○吉田社		
知能ソフトウェア工学	教授	博(工)名大	○小尻智子		
	教授	博(工)大市大	○徳丸正孝		
	教授	博(工)同大	○花田良子		
	准教授	博(情報学)府大	○アイエドウン エマヌエル		
	准教授	博(工)首都大	○中村太信		

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <<https://kansaigradsch.kansai-u.ac.jp/>> (2026年4月現在)

2027年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)
環境都市工学専攻	建築学分野	構造系	教授 博(工)京大 ○池永昌容
			教授 博(工)東北大 ○濱田純次
			教授 博(工)京大 ○榎井健
			教授 博(工)京大 ○松田敏
		計画系	教授 博(工)京大 ○大影佳史
			教授 博(工)阪大 ○岡 絵理子
			教授 博(工)阪大 ○亀谷義浩
			教授 博(工)東大 ○木下光
			教授 工博(京大) ○藤田勝也
	准教授 博(美術)東京芸大 ○野村正晴		
	准教授 博(工)関大 橋寺知子		
	環境系	教授 学術博(奈良女子大) ○都築和代	
		教授 博(工)京大 ○豊田政弘	
		教授 博(工)阪大 ○原直也	
		准教授 博(工)阪大 ○竹村明久	
	都市システム工学分野	地球環境系	教授 博(工)京大 ○尾崎平
			教授 Ph.D.(南カリフォルニア大) ○飛田哲男
			教授 博(工)京大 ○安田誠宏
			准教授 博(工)山梨大 ○橋本雅和
			准教授 博(工)京大 ○宮崎祐輔
		設計建設系	教授 博(工)阪大 ○石川敏之
教授 博(工)名大 ○上田尚史			
教授 博(工)九大 ○鶴田浩章			
准教授 博(工)関大 ○北岡貴文			
計画マネジメント系		教授 博(工)名大 ○井ノ口弘昭	
		教授 博(工)東北大 ○北詰恵一	
		教授 博(工)阪大 ○尹禮分	
	准教授 博(工)京大 ○林倫子		
情報システム系	教授 工博(京大) ○兼清泰明		
	教授 博(工)関大 ○窪田諭		
	教授 博(工)立命大 ○滝沢泰久		
	教授 博(工)奈良先端大 ○安室喜弘		
	准教授 博(工)奈良先端大 ○安達直世		
工学・都市建築分野共通	地域再生学	教授 博(工)名大 ○井ノ口弘昭	
		教授 博(工)阪大 ○岡 絵理子	
		教授 博(工)東北大 ○北詰恵一	
		教授 博(工)東大 ○木下光	
エネルギー工学分野	エネルギー工学	教授 博(工)東北大 ○朝熊裕介	
		教授 博(工)関大 ○池永直樹	
		教授 博(工)関大 ○中川清晴	
		教授 博(工)関大 ○村山憲弘	
		准教授 博(工)阪大 ○福康二郎	
		准教授 博(工)横浜国大 ○松岡光昭	
	環境化学	教授 博(工)関大 ○荒木貞夫	
		教授 博(工)阪大 ○田中俊輔	
		教授 博(工)京大 ○林 順一	
		准教授 博(工)阪大 ○木下卓也	
准教授 博(工)京大 長谷川 功			

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <<https://kansaigradsch.kansai-u.ac.jp/>> (2026年4月現在)

2027年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)
化学生命工学専攻	化学・物質工学分野	金属材料設計	教授 博(工)阪大 ○上 田 正 人 教授 博(工)大府大 ○森 重 大 樹
		金属材料プロセス	教授 博(工)阪大 ○西 本 明 生 教授 博(工)関大 ○星 山 康 洋 教授 博(工)北大 ○丸 山 徹 准教授 博(工)阪大 ○山 本 啓
		金属・無機材料物性	教授 博(工)三重大 ○荒 地 良 典 教授 博(工)慶應大 ○内 山 弘 章 教授 博(工)京大 竹 下 博 之 教授 博(工)阪大 ○春 名 匠 准教授 博(学術)東京医科歯科大 ○近 藤 亮 太
		無機・物理化学	教授 博(理)阪大 ○青 田 浩 幸 教授 工博(阪大) ○石 川 正 司 教授 博(理)九大 ○川 崎 英 也 准教授 博(工)関大 ○郭 昊 軒 准教授 博(工)慶應大 山 縣 雅 紀
		有機化学	教授 博(工)阪大 ○梅 田 壘 教授 博(工)岐阜大 ○大 洞 康 嗣 教授 博(工)関大 ○坂 口 聡 准教授 博(理)大市大 ○矢 野 将 文
		高分子化学	教授 博(工)東工大 ○工 藤 宏 人 教授 博(工)東工大 ○三 田 文 雄 教授 博(工)関大 ○原 田 美由紀 准教授 博(工)京大 ○曾 川 洋 光
		生体材料化学	教授 博(工)日大 ○岩 崎 泰 彦 教授 博(工)京大 ○大 矢 裕 一 教授 博(工)大府大 ○柿 木 佐知朗 教授 博(工)大府大 ○河 村 暁 文 教授 博(地球環境科学)北大 ○古 池 哲 也 教授 博(工)神大 ○宮 田 隆 志
		生体機能分子化学	教授 工博(阪大) ○石 田 齊 教授 博(工)東大 ○葛 谷 明 紀 教授 博(理)名大 ○矢 島 辰 雄 准教授 博(理)奈良女子大 中 井 美早紀
		計算物質科学	准教授 博(工)名大 ○藤 本 和 士
	生命・生物工学分野	バイオテクノロジー	教授 博(工)関大 ○岩 木 宏 明 教授 博(農)京大 ○老 川 典 夫 教授 博(工)阪大 ○松 村 吉 信 教授 博(工)阪大 ○山 崎 思 乃 教授 博(生物資源)福井県立大 ○山 中 一 也 准教授 博(工)神大 ○岡 野 憲 司 准教授 博(工)関大 ○佐 々 木 美 穂
		ライフサイエンス	教授 博(理)阪大 下 家 浩 二 教授 博(薬)京大 ○住 吉 孝 明 教授 博(薬)京大 ○長 岡 康 夫 教授 博(水産)北大 ○福 永 健 治 教授 博(工)関大 ○細 見 亮 太 准教授 博(理)北大 ○日 下 部 り え 准教授 博(理)阪大 安 原 裕 紀 准教授 博(生命科学)京大 ○山 口 賀 章

理工学研究科（博士課程後期課程）

募集研究科・専攻および入学定員

研究科	専攻	入学定員
理工学研究科	総合理工学専攻	47名

注 入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

D 一般入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集）

I 出願資格

次の(1)～(7)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(5)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(6)または(7)に該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(6)または(7)による出願は、出願前に個別の入学資格審査として行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

【重要】出願に先立ち、「大学院 Information」または理工学研究科ウェブサイト参照のうえ、志望する研究領域の教員に必ず連絡し、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。（本学理工学研究科在学学生を除く。）

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、40～41 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
出願確認票（大学提出用）【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る

<p>出身大学院の成績証明書【③】</p>	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p> <p>注3 出願資格(6)または(7)により出願する場合は、最終出身学校の成績証明書を提出してください。</p>
<p>出身大学院の修了（見込）証明書【④】</p>	<p>修了（見込）であること、入学年月および修了（見込）年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(6)または(7)により出願する場合は、最終出身学校の卒業証明書を提出してください。</p>
<p>研究計画書【⑤】</p>	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。</p>
<p>在留カードまたはパスポートの写し【⑥】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ （特別永住者を除く。）</p>	<p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。</p> <p>なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
<p>写真 1枚</p>	<p>出願前3カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。</p> <p>なお、修整・加工したものは不可。</p>
<p>出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者</p>	
<p>修士論文の概要【⑥】</p>	<p>2,000字程度 4部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。</p>
<p>修士論文の写し【⑦】</p>	<p>4部</p>
<p>出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、修士論文を提出予定の者</p>	
<p>研究業績【⑨】</p>	<p>学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し各4部</p>
<p>出願資格(6)または(7)で出願する者および 専門職学位を有する者（または取得見込みの者）で修士論文を作成していない場合</p>	
<p>業績報告書【⑧】</p>	<p>研究業績または業務内容の概要2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。</p>
<p>研究業績【⑨】</p>	<p>学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し各4部</p>

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に合否を決定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

【筆記試験免除者】

口頭試問の得点の高位順に合否を決定します。

なお、理工学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目

筆記試験 (100点)	口頭試問 (100点)
外国語 (英語)	筆記試験終了後
10:00~11:30 (90分)	

注1 本大学院工学研究科博士課程前期課程修了者および理工学研究科博士課程前期課程修了（見込）者は「筆記試験」を免除します。

注2 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。
なお、筆記試験免除者の口頭試問の開始時刻は、受験票にて通知します。

注3 口頭試問は提出した研究計画書、研究業績および修士論文とその概要に基づいて行います。

D 外国人留学生入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

I 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(3)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 外国の大学院において修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者
- (2) 日本の大学院において外国人留学生として修士の学位または専門職学位を得た者
- (3) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (5) その他、本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学位を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(4)または(5)に該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

【重要】出願に先立ち、「大学院 Information」または理工学研究科ウェブサイト参照のうえ、志望する研究領域の教員に必ず連絡し、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。（本学理工学研究科在学学生を除く。）

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、40～41 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備 考
全ての志願者が提出する書類	
出願確認票（大学提出用）【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷したものを提出してください。
日本語または英語による志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学院の成績証明書【③】	成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 ○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。 ○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。 ○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー

	<p>一) プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学院の修了(見込)証明書【④】	<p>修了(見込)であること、入学年月および修了(見込)年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>
日本語または英語による研究計画書【⑤】	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙(横書40字×40行)を使用して作成してください。</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑬】	<p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。</p> <p>なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
写真 1枚	<p>出願前3カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。</p> <p>なお、修整・加工したものは不可。</p>
総合理工学専攻 機械工学分野、生命・生物工学分野の志願者	
「TOEIC」または「TOEFL」のスコア証明書【⑭】	<p>●TOEIC® L&R 【日本国内受験者】 「デジタル公式認定証」のPDFファイルをダウンロードのうえA4用紙に印刷したもの ※41ページの「TOEIC 『公開テスト スコア確認サービス』手続きの流れ」に従って、TOEIC 申込サイトからスコア提出の手続きを行ってください。</p> <p>【日本国外受験者】 「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」の原本 (注) TOEIC® L&R テスト(IP)等の団体特別受験制度のスコアは認めません。</p> <p>●TOEFL iBT® ETSアカウントから Kansai University Graduate Schools (Designated Institution (DI) Code: G128)へスコアの直送手続を行ったうえで、次の①・②の両方を必ず提出してください。</p> <p>①ETSアカウントよりダウンロードした「Test Taker Score Report (PDFファイル)」をA4用紙に印刷したもの。</p> <p>②データ直送依頼が完了したことが分かる画面をA4用紙に印刷したもの。</p> <p>※直送先としてG128 (Kansai University Graduate Schools)が選択されていること、16ケタのAppointment Number(テスト予約番号、旧名称Registration Number)の2点がかかるもの。</p> <p>(注1) TOEFL ITP®テスト等の団体特別受験制度、TOEFL iBT® Home Editionのスコアは認めません。</p> <p>(注2) TOEFL iBT® テストにおけるMy Best™スコアは選考対象としません。</p>
※スコア証明書は、各日程の出願開始日から遡って2年以内に取得したものを有効とします。	
出願資格(1)～(3)で出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者	
日本語または英語による修士論文の概要【⑥】	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙(横書40字×40行)を使用して作成してください。</p>
日本語または英語による修士論文の写し【⑦】	<p>4部</p>
出願資格(1)～(3)で出願する者のうち、修士論文を提出予定の者	
研究業績【⑨】	<p>学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し各4部</p>

3 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

口頭試問の得点の高位順に合否を決定します。

なお、理工学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目

筆記試験	口頭試問
行いません	口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

注 口頭試問は提出した研究計画書、研究業績および修士論文とその概要に基づいて行います。

D 社会人入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：8月募集）

I 出願資格

次の(1)および(2)に該当する者

(1) 次のア～キのいずれかに該当する者

- ア 修士の学位または専門職学位を有する者
- イ 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- エ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- オ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- カ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- キ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者

(2) 次のアまたはイのいずれかに該当する者

- ア
 - 出願資格(1)-ア～オによる志願者
入学時において、博士課程前期課程（修士課程）修了後、同一の企業、官公庁、教育・研究機関等において継続して2年以上専門職に勤務している者
 - 出願資格(1)-カによる志願者
入学時において、大学卒業後、大学・研究所等で継続して2年以上専門職に勤務している者
 - 出願資格(1)-キによる志願者
入学時において、大学・研究所等で継続して2年以上専門職に勤務している者
- イ 本大学院において、個別の入学資格審査により、アに準ずる職歴を有すると認められた者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(1)-カ、(1)-キまたは(2)-イに該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(1)-カ、(1)-キによる出願は、出願前に行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は、書類選考の他に必要に応じて筆記試験および口頭試問を実施します。

【重要】出願に先立ち、「大学院 Information」または理工学研究科ウェブサイトを参照のうえ、志望する研究領域の教員に必ず連絡し、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、40～41 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
出願確認票（大学提出用）【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学院の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p> <p>注3 出願資格(1)ーカまたは(1)ーキにより出願する場合は、最終出身学校の成績証明書を提出してください。</p>
出身大学院の修了証明書【④】	<p>出願書類③に、修了（見込）であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(1)ーカまたは(1)ーキにより出願する場合は、最終出身学校の卒業証明書を提出してください。</p>
研究計画書【⑤】	2,000 字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。
研究業績【⑨】	学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し各4部
勤務先の所属長の承諾書【⑬】	様式自由
在留カードまたはパスポートの写し【⑮】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ （特別永住者を除く。）	<p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。 なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
写真 1枚	出願前3カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。 なお、修整・加工したものは不可。
出願資格(1)ーア～オで出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者	
修士論文の概要【⑥】	2,000 字程度 4部 パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。
修士論文の写し【⑦】	4部
出願資格(1)ーカまたは(1)ーキで出願する者および 専門職学位を有する者（または取得見込みの者）で修士論文を作成していない場合	
業績報告書【⑧】	研究業績または業務内容の概要 2,000 字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。

3 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

口頭試問の得点の高位順に合否を決定します。

なお、理工学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目

筆記試験	口頭試問
行いません	口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

注 口頭試問は提出した研究計画書、研究業績および修士論文とその概要に基づいて行います。

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <<https://kansaigradsch.kansai-u.ac.jp/>> (2026年4月現在)

2027年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)
総合理工学専攻	数学分野	コホモロジー的数理	教授 博(理)東工大 ○庄田敏宏
			教授 博(数理科学)東大 ○藤岡敦
			教授 博(理)早大 ○村林直樹
			教授 博(理)名大 ○柳川浩二
	教授 博(理)阪大 ○和久井道久		
	准教授 博(数理科学)東大 神吉雅崇		
	確率・統計	教授 博(理)阪大 ○上村稔大	
		教授 博(学術)東大 ○寺本央	
		准教授 博(数理)九大 上原悠禎	
		准教授 博(理)立命館大 田口大	
	物理・応用物理学分野	基礎・計算物理	教授 博(理)京大 ○板野智昭
			教授 博(工)名大 ○伊藤博介
			教授 博(理)大市大 ○伊藤誠
			教授 博(工)名大 ○本多周太
	教授 理博(京大) ○和田隆宏		
	准教授 博(理)信州大 阿部裕悟		
	光学・応用物理	教授 博(工)阪大 ○浅川誠	
		教授 博(材)北陸先端大 ○稲田貢	
		教授 博(理)京大 ○山口聡一朗	
		教授 博(工)東大 ○山本健	
准教授 Ph.D.(メリーランド大) 山本真人			
機械工学分野	ナノ機能物理工学	教授 博(工)慶應大 ○伊藤健	
	教授 博(工)広大 ○清水智弘		
	流体工学・バイオメカニクス	教授 博(工)関大 ○田地川勉	
		教授 博(工)阪大 ○山本恭史	
	准教授 博(工)北大 大友涼子		
	材料工学	教授 博(工)阪大 ○齋藤賢一	
		教授 博(工)関大 ○佐藤知広	
		教授 博(工)京大 ○高橋可昌	
	トライボロジー・情報マイクロメカトロニクス	教授 博(工)東工大 ○小金沢新治	
		教授 博(工)東大 ○谷弘詞	
教授 博(工)岩大 ○呂仁国			
熱工学	教授 博(工)関大 ○梅川尚嗣		
	教授 博(工)同大 ○松本亮介		
	准教授 博(工)関大 網健行		
准教授 博(工)京大 小田豊			
生産加工システム	教授 博(工)東大 ○古城直道		
	教授 工博(東大) ○山口智実		
	准教授 博(工)岡山大 廣岡大祐		
機械力学・制御工学	教授 博(工)京大 ○山田啓介		
	准教授 博(情報科学)阪大 白藤翔平		
計測・知能システム	教授 博(理)広大 ○高田啓二		
	教授 博(工)阪大 ○前泰志		
	准教授 博(工)阪大 ラサミー ポチャラ		
ロボット・マイクロシステム	教授 博(工)東大 ○青柳誠司		
	教授 博(工)広大 ○鈴木昌人		
	准教授 博(工)東北大 高橋智一		
人間・生体情報工学	教授 Ph.D.(メリーランド州立大) ○小谷賢太郎		
	准教授 博(工)青学大 鈴木哲		

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <<https://kansaigradsch.kansai-u.ac.jp/>> (2026年4月現在)

2027年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）		
総合理工学専攻	電気電子情報工学分野	電気工学	教授	博(工)東大	○大橋俊介
			教授	博(工)東大	○濱田昌司
			准教授	博(工)関大	米津大吾
		機能性材料・デバイス	教授	博(工)京大	○上田哲三
			教授	博(工)阪大	○北村敏明
			教授	博(工)東工大	○黒川康良
			教授	博(工)阪大	○佐伯拓
			教授	博(理)北大	○長谷川裕之
			准教授	博(工)早大	稲葉優文
			准教授	博(工)宮崎大	大堀大介
			准教授	博(工)関大	佐藤伸吾
			准教授	博(理)京大	杉本貴則
			准教授	博(工)筑波大	宝田隼
		情報通信工学	教授	博(工)阪大	○平田孝志
			教授	工博(阪大)	○山本幹
			教授	博(工)阪大	○四方博之
			教授	博(工)阪大	○和田友孝
		システム情報学	教授	博(工)京大	○伊藤秀隆
			教授	博(情報学)京大	○土谷亮
			教授	博(工)慶大	○肥川宏臣
			教授	博(工)金沢大	○三好誠司
			准教授	博(工)岡山大	本仲君子
		メディア処理工学	教授	博(工)阪大	○梶川嘉延
			教授	博(工)大市大	○松島恭治
准教授	博(工)東京農工大		東広志		
准教授	博(情報科学)北大		吉田壮		
知能ソフトウェア工学	教授	博(工)名大	○小尻智子		
	教授	博(工)大市大	○徳丸正孝		
	教授	博(工)同大	○花田良子		
	准教授	博(情報学)府大	アイエドウン エマヌエル		
	准教授	博(工)首都大	中村太信		

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <<https://kansaigradsch.kansai-u.ac.jp/>> (2026年4月現在)

2027年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)
総合理工学専攻	建築学分野	構造系	教授 博(工)京大 ○池 永 昌 容
			教授 博(工)東北大 ○濱 田 純 次
			教授 博(工)京大 ○榎 井 健 敏
			教授 博(工)京大 ○松 田 敏
		計画系	教授 博(工)京大 ○大 影 佳 史
			教授 博(工)阪大 ○岡 繪 理 子
			教授 博(工)阪大 ○亀 谷 義 浩
			教授 博(工)東大 ○木 下 光
			教授 工博(京大) ○藤 田 勝 也
	准教授 博(美術)東京芸大 野 村 正 晴		
	環境系	教授 学術博(奈良女子大) ○都 築 和 代	
		教授 博(工)京大 ○豊 田 政 弘	
		教授 博(工)阪大 ○原 直 也	
		准教授 博(工)阪大 竹 村 明 久	
	都市システム工学分野	地球環境系	教授 博(工)京大 ○尾 崎 平
			教授 Ph.D.(南カリフォルニア大) ○飛 田 哲 男
			教授 博(工)京大 ○安 田 誠 宏
			准教授 博(工)山梨大 橋 本 雅 和
			准教授 博(工)京大 宮 崎 祐 輔
		設計建設系	教授 博(工)阪大 ○石 川 敏 之
			教授 博(工)名大 ○上 田 尚 史
教授 博(工)九大 ○鶴 田 浩 章			
准教授 博(工)関大 北 岡 貴 文			
計画マネジメント系		教授 博(工)名大 ○井ノ口 弘 昭	
		教授 博(工)東北大 ○北 詰 恵 一	
		教授 博(工)阪大 ○尹 禮 分	
准教授 博(工)京大 林 倫 子			
情報システム系	教授 工博(京大) ○兼 清 泰 明		
	教授 博(工)関大 ○窪 田 諭		
	教授 博(工)立命大 ○滝 沢 泰 久		
	教授 博(工)奈良先端大 ○安 室 喜 弘		
	准教授 博(工)奈良先端大 安 達 直 世		
工学・都市・建築分野共通	地域再生学	教授 博(工)名大 ○井ノ口 弘 昭	
		教授 博(工)阪大 ○岡 繪 理 子	
		教授 博(工)東北大 ○北 詰 恵 一	
		教授 博(工)東大 ○木 下 光	
エネルギー工学・環境化学分野	エネルギー工学	教授 博(工)東北大 ○朝 熊 裕 介	
		教授 博(工)関大 ○池 永 直 樹	
		教授 博(工)関大 ○中 川 清 晴	
		教授 博(工)関大 ○村 山 憲 弘	
		准教授 博(工)阪大 福 康 二 郎	
		准教授 博(工)横浜国大 松 岡 光 昭	
	環境化学	教授 博(工)関大 ○荒 木 貞 夫	
		教授 博(工)阪大 ○田 中 俊 輔	
		教授 博(工)京大 ○林 順 一	
		准教授 博(工)阪大 木 下 卓 也	

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <<https://kansaigradsch.kansai-u.ac.jp/>> (2026年4月現在)

2027年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)	
総合理工学専攻	化学・物質工学分野	金属材料設計	教授 博(工)阪大 ○上田正人 教授 博(工)大府大 ○森重大樹	
		金属材料プロセス	教授 博(工)阪大 ○西本明生 教授 博(工)関大 ○星山康洋 教授 博(工)北大 ○丸山徹 准教授 博(工)阪大 山本啓	
		金属・無機材料物性	教授 博(工)三重大 ○荒地良典 教授 博(工)慶應大 ○内山弘章 教授 博(工)京大 竹下博之 教授 博(工)阪大 ○春名匠 准教授 博(学術)東京医科歯科大 近藤亮太	
		無機・物理化学	教授 博(理)阪大 ○青田浩幸 教授 工博(阪大) ○石川正司 教授 博(理)九大 ○川崎英也 准教授 博(工)関大 郭昊軒	
		有機化学	教授 博(工)阪大 ○梅田壘 教授 博(工)岐阜大 ○大洞康嗣 教授 博(工)関大 ○坂口聡 准教授 博(理)大市大 矢野将文	
		高分子化学	教授 博(工)東工大 ○工藤宏人 教授 博(工)東工大 ○三田文雄 教授 博(工)関大 ○原田美由紀 准教授 博(工)京大 曾川洋光	
		生体材料化学	教授 博(工)日大 ○岩崎泰彦 教授 博(工)京大 ○大矢裕一 教授 博(工)大府大 ○柿木佐知朗 教授 博(工)大府大 ○河村暁文 教授 博(地球環境科学)北大 ○古池哲也 教授 博(工)神大 ○宮田隆志	
		生体機能分子化学	教授 工博(阪大) ○石田斉 教授 博(工)東大 ○葛谷明紀 教授 博(理)名大 ○矢島辰雄	
		計算物質科学	准教授 博(工)名大 藤本和士	
	生命・生物工学分野	バイオテクノロジー	教授 博(工)関大 ○岩木宏明 教授 博(農)京大 ○老川典夫 教授 博(工)阪大 ○松村吉信 教授 博(工)阪大 ○山崎思乃 教授 博(生物資源)福井県立大 ○山中一也 准教授 博(工)神大 岡野憲司 准教授 博(工)関大 佐々木美穂	
			ライフサイエンス	教授 博(薬)京大 ○住吉孝明 教授 博(薬)京大 ○長岡康夫 教授 博(水産)北大 ○福永健治 教授 博(工)関大 ○細見亮太 准教授 博(理)北大 日下部りえ 准教授 博(生命科学)京大 山口賀章

V 出願書類に関する注意事項

受理した書類は返却いたしません。

1 志望理由書について

- (1) 必ず黒のインクまたはボールペン（消せるボールペンは除く）で記入してください。
- (2) 出願後、研究領域および受験科目の変更は一切認めません。
- (3) 次の①～③を参照のうえ、各自が志望する分野の研究領域（博士課程前期課程は第1志望・第2志望、博士課程後期課程は第1志望）を選択してください。なお、博士課程前期課程で第2志望の研究領域がない場合は「なし」と記入してください。

① **博士課程前期課程** 本募集要項 22～25ページ

「2027年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）」

注 環境都市工学専攻で「地域再生学」を研究領域として志望する者は、「2027年度 研究領域および担任教員一覧（予定）」（24ページ）を参照のうえ、志望する分野（建築学分野または都市システム工学分野）を選択してください。

博士課程後期課程 本募集要項 36～39ページ

「2027年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）」

注 環境都市工学専攻で「地域再生学」を研究領域として志望する者は、「2027年度 研究領域および担任教員一覧（予定）」（38ページ）を参照のうえ、志望する分野（建築学分野または都市システム工学分野）を選択してください。

② 理工学研究科ウェブサイト(https://www.kansai-u.ac.jp/stem/faculty/gr_sch_index.html)

③ 関西大学大学院Information

- (4) 学歴事項欄には通学したすべての教育機関（小学校～大学・大学院）について古い順番に記入してください。大学・大学院の経歴、転学部・編入学・留学等（科目等履修生を含む）の経歴がある場合はすべて記入してください。また、日本語学校や研究生としての所属大学・大学院についても記入してください。なお、大学・大学院における学部・学科名および研究科・専攻名は証明書記載の内容と一致するよう、省略せず、正しく記入してください。
- (5) 卒業（修士）論文論題欄は、仮題でもかまいませんので必ず記入してください。なお、卒業（修士）論文が未定の場合は「未定」、ない場合は「なし」と記入してください。また、指導教員がない場合は、「なし」と記入してください。
- (6) 記入する氏名は、住民票、パスポートまたは在留カードに基づいて記入してください。

なお、外国人留学生の氏名はカタカナまたは漢字・アルファベットを使用してください（ひらがな不可）。

また、出願登録において代用漢字等を使用した場合については、出願書類と出願登録上の文字が異なっても問題ありません。

2 研究計画書について

必ず氏名を明記してください。

3 その他

- (1) 成績証明書、卒業・修了（見込）証明書は原本を提出してください。

（注）原本とは、出身大学（院）等が紙媒体で発行する証明書*です。

*PDF 等のファイル形式をプリントアウトしたものは該当しません。なお、PDF 等のファイル形式をプリントアウトしたものの以外には発行されない場合、プリントアウトしたものに出身大学（院）等でインクスタンプを押印したものを提出すること。

提出された各証明書は返却できませんので、再発行不可等の理由により原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた「公証書（公証処が発行したもの・日本の公証役場は不可）」を提出してください。

各証明書の有効期限はありません。内容が最新のものであれば、過去に取得した証明書でも構いません。

各証明書は、日本語、英語または中国語で書かれているものを有効書類とします。それ以外の言語で書かれている場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた日本語または英語の訳文を提出してください。

志望理由書の「学歴事項」欄において、大学・学部・学科名を記入するときには、証明書が英語で書かれている場合は日本語に訳し、中国語で書かれている場合は日本漢字に置き換え、日本の漢字にないものは意識してください。

例) School of Foreign Languages → 外国語学部

旅游与历史文化学院 → 旅游与歴史文化学部

- (2) 必要に応じて、別途書類の提出を求める場合があります。
- (3) 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることがわかる公的な証明書（戸籍抄本・戸籍個人事項証明書等）を別途提出してください。
- (4) 出願期間内に出願書類が整わない場合、出願を認めないことがあります。
- (5) 出願に関するお問い合わせは、日曜日、祝日および以下の期間以外にお願いします。
 - ・2026年8月1日(土)～9月20日(日)の間の土曜日
 - ・2026年8月11日(火・祝)～8月20日(木)
 - ・2026年12月26日(土)～2027年1月6日(水)
 - ・2027年8月1日(日)～9月20日(月・祝)の間の土曜日
 - ・2027年8月11日(水・祝)～8月20日(金)
- (6) 出願書類の記載事項が事実と異なる場合、不正がある場合は、受験および入学の資格を取り消します。

TOEIC 「公開テスト スコア確認サービス」手続きの流れ

【STEP 1】 TOEIC 申込サイトにログイン

ログインIDとパスワードを入力し、TOEIC 申込サイトにログインしてください。
TOEIC 申込サイト : <https://ms.toeic.or.jp/Usr/Pages/Entry/Login.aspx>

【STEP 2】 公開テスト申込ページへ

TOEIC 申込サイトトップページの「テスト結果」の右下にある「大学・企業等へのスコア提出」ボタンをクリックしてください。

【STEP 3】 スコア提出先と対象テストを選択

「提出先団体選択」で申請コード（**関西大学大学院入試グループの申請コード「00015802」**）を入力して、「検索」ボタンをクリックしてください。
次に「テスト種別選択」で提出するテストを選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

【STEP 4】 提出するスコアを選択

受験した TOEIC® Listening & Reading 公開テストから提出するスコアを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

【STEP 5】 提出内容と注意事項を確認し、提出完了

申請コード、提出先名称、提出スコアおよび注意事項を確認し、注意事項同意のチェックボックスにチェックを入れ、[提出する]ボタンをクリックしてください。
[テスト結果一覧]の[スコア提出一覧]から、提出履歴を確認することができます。



関西大学大学院

<https://kansaigradsch.kansai-u.ac.jp/>

千里山キャンパス

法学研究科 文学研究科 経済学研究科 商学研究科 社会学研究科 理工学研究科
外国語教育学研究科 心理学研究科 東アジア文化研究科 ガバナンス研究科

問合せ先：入試センター大学院入試グループ

〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35 TEL 06-6368-1121 (大代表)

mailフォーム https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/qa/

高槻キャンパス

総合情報学研究科

問合せ先：高槻オフィス

〒569-1095 高槻市霊仙寺町 2-1-1 TEL 072-690-3213 (直通)

E-mail: k-soujyo@ml.kandai.jp

高槻ミューズキャンパス

社会安全研究科

問合せ先：高槻ミューズキャンパス事務グループ (ミューズオフィス)

〒569-1098 高槻市白梅町 7-1 TEL 072-684-4000 (代表)

E-mail: safety_science@ml.kandai.jp

堺キャンパス

人間健康研究科

問合せ先：堺キャンパス事務室

〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町 1-11-1 TEL 072-229-5022 (代表)

E-mail: sakai-adm@ml.kandai.jp